



DJI レポート

No.142&143 20260120

国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan
〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 phone 0466-31-5061 Email: djiarchiv@yahoo.co.jp

DJI アーカイブ年表 1945～2026

【解説】この年表は、国際資料研究所が独自の立場で作成したものである。この表には西暦、年号、及びアーカイブ年号（次頁）の欄を設けた。このアーカイブ年号は2004年に日経新聞が組んだ特集「アーカイブ零(ぜろ)年」を機に、国内の公文書館やその制度に対する関心が一気に高まりを見せたことによる。国際資料研究所ではこれを踏まえ、2005年に「アーカイブ元年」の「年号」を与え、日本のアーカイブを巡る社会的関心、制度整備の状況の考察の変遷に注目した。(ち)

西暦	年号	事項
1945	昭和20	8月敗戦
1946	21	日本国憲法 11月3日公布
1947	22	教育基本法 昭和22・3・31 法律第25号
1948	23	国立国会図書館法昭和23年法律第5号
1949	24	社会教育法 昭和24年法律第207号
1950	25	図書館法昭和25・4・30 法律第118号 文化財保護法昭和25・5・30 法律第214号
1951	26	博物館法 昭和26・12・1 法律第285号
1952	27	
1953	28	学校図書館法(昭和28年法律第185号)
<hr/>		
1985	60	国際文書館評議会円卓会議 (CITRA) オースチン (米)
1986	61	国際文書館評議会(以下 ICA)使節ローパー氏来日、講演2回実施
1987	62	公文書館法昭和62・12・15 法律第115号
1988	63	第11回 ICA 大会パリ 日本公文書館法制定の功績で岩上二郎氏に名誉メダル授与決定
1989	平成元	ICA 会長来日岩上二郎氏名誉メダル授与 CITRA マドリッド
1990	2	CITRA ドレスデン
1991	3	ICA 事務局長来日 CITRA マーストリヒト ユネスコアジア防災会議 上海
1992	4	第12回 ICA 大会モンテリオールで 東アジア地域支部設立提案

1993	5	ICA 東アジア地域支部(EASTICA)設立総会開催 北京 CITRA メキシコシティ ICA/SPA(国際文書館評議会/専門家団体部会)ベルサイユ
1994	6	ICA 防災委員会 藤沢 CITRA テサロニケ
1995	7	EASTICA 総会マカオ CITRA ワシントン DC
1996	8	第13回 ICA 大会北京で開催
1997	9	CITRA エジンバラ EASTICA 総会東京で
1998	10	CITRA ストックホルム EASTICA セミナー中国蘇州
1999	11	情報公開法平成11.5.14 法律第42号 独立行政法人国立博物館法平成11.12.22 法律第178号 国立公文書館法平成11.6.23 法律第79号 CITRA ブダペスト
2000	12	第14回 ICA 大会セビリヤ ICA/SPA パリ EASTICA 香港
2001	13	CITRA レイキャビク ICA/SPA フィレンツェ
2002	14	ICA/SPA ダブリン CITRA マルセイユ
2003	15	行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律 平成15.5.30 法律第58号 ICA/SPA シカゴ CITRA ケープタウン
2004	16	第15回 ICA 大会ウィーン

【以下次頁に続く】

【略称】

- p.1 ICA: International Council on Archives; 国際文書館評議会
CITRA: International Round Table Conference of Archives; 国際文書館円卓会議
EASTICA: East Asian Branch of ICA; 国際文書館評議会 東アジア地域支部
ICA/SPA: ICA Section for Professional Associations; 国際文書館評議会/専門家団体部会
p.2 海外: 海外アーカイブ・ボランティアの会

おもな内容

DJI アーカイブ年表 1945～2026……………1, 2
散歩道・UNHCR「緒方貞子会議室」……………2

DJI レポート No.142+143 20260120

消息/文献/あしあと/活動 250921～12.31……………3
巻末随想/トラ(釧路動物園)……………4

西暦 和暦年号	アーカイブ年号 【注1】	事項
2005 平成 17	元年	ICA/SPA ジロナ CITRA キュラソー
2006 平成 18	2	CITRA 議アブダビ ICA/SPA フルシャワ
2007 平成 19	3	ICA/SPA 京都 東京で日米アーカイブセミナー ICITRA ケベック
2008	4	第 16 回 ICA 大会クアラルンプール
2009 平成 21	5	公文書管理法成立 海外アーカイブ・ボランの会【以下 「海外」と略す】 UNHCR ジュネーブでホラ ンティア活動開始
2010	6	海外第 2 回目
2011 平成 23	7	公文書管理法施行 海外 3 回目 UNHCR 副高等弁務官会見 日本は 3.11 地震津波大災害 10 月 CITRA トレド;これが最後
2012 平成 24	8	第 17 回 ICA 大会、プリズペーン 海外 4 回目
2013	9	海外 5 回目
2014	10	海外 6 回目
2015 平成 27	11	日本アーカイブズ学会登録アーキビスト開始 海外 6 回目 DJI レポート 100 号
2016 平成 28	12	第 18 回 ICA 大会ソウル 海外 7 回目
2017	13	海外 8 回目
2018	14	海外 9 回目
2019 令和元	15	海外 10 回目

2020 令和 2	16	国立公文書館、アーキビスト認証開始 2020 年度認証アーキビスト 190 名 海外コロナ禍で休止
2021 令和 3	17	博物館法改正 2021 年度国立公文書館認証アーキビスト 54 名 海外コロナ禍で休止
2022 令和 4	18	2022 年度国立公文書館認証アーキビスト 34 名 海外コロナ禍で休止
2023 令和 5	19	2023 年度国立公文書館認証アーキビスト 42 名 海外再開通算 12 回目
2024 令和 6	20	1 月 22 日 海外、上川陽子外務大臣に 感謝状贈呈 2024 年度国立公文書館認証アーキビスト 32 名 4 月第 1 回認証アーキビスト認定 128 名 6 月第 2 回認証アーキビスト認定 48 名 海外 13 回目
2025 令和 7	21	1 月 1 日付認証アーキビスト 32 名 7 月第 3 回認証アーキビスト認定 73 名 10 月 10 日 石破茂内閣総理大臣所感 「戦後 80 年寄せて」 海外 14 回目 UNHCR に緒方記念会議室設置
2026 令和 8	22	1 月 1 日付認証アーキビスト 24 名 1 月 3 日米ベネズエラ首都軍事攻撃、 大統領夫妻を米国へ拉致拘留 1 月 17 日共通テストに史料ネット出題

【注】

・日本アーカイブズ学会登録アーキビストの登録者数
URL: <http://www.jsas.info/?cat=13> (20230108 確認
するも 20260103 確認できず)
・国立公文書館認証アーキビスト名簿の URL:
[JCA_list_20250401.pdf](http://www.jsas.info/?cat=13) 及び [news20241224.pdf](http://www.jsas.info/?cat=13)
(20260103 確認)
・国立公文書館認証アーキビスト名簿 (20260103 確認)
令和 6 年 4 月 1 日 認証アーキビスト第 1 回認定 [JCA-A_list_20240401.pdf](http://www.jsas.info/?cat=13); 同年 6 月 1 日 認証アーキビスト

ト第 2 回認定 [JCA-A_list_20240601.pdf](http://www.jsas.info/?cat=13) ;
令和 7 年 7 月 1 日 認証アーキビスト第 3 回認定 [JCA-A_list_20250701.pdf](http://www.jsas.info/?cat=13)

・この年表は、当初 MLA 関連の国内法制の整備状況を時
系列での把握をめざして作成した。公文書館関連法制の整
備は 1987 年以降に行われ、2009 年公文書管理法成立で
一段落している。その後はアーキビスト登録、同認証制度
の普及が著しい。2025 年末段階では、ICA 大会、CITRA、
ICA/SPA 等の参加実績を加筆した。©国際資料研究所

【アーキビストの散歩道】

UNHCR本館に「オガタサダコ記念会議室」設置

25.10.16 毎日(7)

国連事務所に緒方貞子記念室

元部下「感謝のしるし」

グランディ国連難民
高等弁務官は15日、外
務省で岩屋毅外相と会
談し、スイス・ジュネ
ーブにある国連難民高
等弁務官事務所 (UN
HCR) 内に、故緒方貞子・元高等弁務
官一写真の記念室を作ったと明かし
た。数日前に開所式を実施したという。
グランディ氏は補佐官などとして緒方
氏を支えた。会談で「私は緒方氏と非常

に近い関係だったこともあり、(高等弁
務官の) 任を終える前にぜひ作りたい
かった。日本への感謝のしるしを受け取っ
てくだされば」と述べた。
緒方氏は1991〜2000年に女性初、日本
人初の国連難民高等弁務官を務め、「ユ
ネスコ平和賞」やアジアのノーベル賞と
いわれる「マグサイサイ賞」などを受賞。
民族紛争が相次いだ時期に旧ユーゴスラ
ビアやコンゴ民主共和国、チェチェンな
どの紛争地で難民救援を指揮し、「小さ
な巨人」とも呼ばれた。

【田所柳子】

グランディ国連難民高等弁務官は 25 年
10 月 15 日、外務省で岩屋毅外相と会
談し、スイス・ジュネーブにある国連
難民高等弁務官事務所 UNHCR 内に、
故緒方貞子・元高等弁務官の記念室を
作ったと明かした。数日前に開所式を
実施したという。グランディ氏は補佐
官などとして緒方氏を支えた。

(以上毎日新聞記事引用)



25 年 11 月 5 日 UNHCR
本館 B1 緒方記念会議室前

↑毎日新聞 2025/10/16 夕刊切抜

■●アーキビストの消息■機関●個人

●岩下ゆうき氏 8月20日付 Royal Air Force Association WA、Information Management 部の Information Management Officer に着任。2022 年から3年間 Scanning Officer、7月末から CIO (Chief Information Officer) の指導のもと、パートナーと共に情報部長代行担当してきた。

11月5日 UNHCR 本館 B1
●安藤正人氏 2025 アジア オガタサダコ記念会議室前で10月29日のメールでこの朗報に接した。安藤氏自身は「戦後80年に韓国が主催する賞を頂いたことに驚きかつ感激して」おられるとのこと。おめでとうございます。詳細：https://asianpubweek.org/04best-asian-books-of-the-year_eng/ (ち)

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆■ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●

▼ハンセン病市民学会年報 2023「差別の連鎖を断つー反差別、共生の願い、その広がりとながりを求めてー」 本書 p.94~154「分科会 B ハンセン病療養所の公文書の取扱いについて考える」では、アーカイブについての議論が行われた。ここにはパネリスト5名(原田寿真(国立療養所菊池恵楓園歴史資料館学芸員)、小川千代子(国際資料研究所代表)、下重直樹(学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻教員)、松岡博之(岡山大学大学院社会文化科学研究科教員)、屋猛(国立療養所邑久光明園入所者自治会会長))、指定発言者1名(亀濱玲子:ハンセン病と人権ネットワーク宮古/市民学会運営委員)、コーディネーター1名(遠藤隆久:熊本学園大学元教員/市民学会共同代表)の計7名(敬称略)の発言が掲載されている。ハンセン病療養所が厚労省傘下の機関であることから、公文書管理の視点をどう取り込むかについての法制度的観点に関心が集まった。議論に参加した立場からの感想。本件厚生労働省の見解が明快ないという。そこにこそ、真剣かつ早急な検討と対応が必要だろう。ハンセン病市民学

会編集発行、解放出版社 2025.7.14 A5 判 205p 1800円+税

●アーキビスト 未来への履歴書 日本アーカイブズ学会創立 20 周年記念出版 日本

アーカイブズ学会編 畏友松村光希子氏も執筆され、寄贈賜った。アーキビストの未来を描く旧知の諸兄諸姉の思いに触れて、わが身の無知を恥じるばかり。でも、ここまで来たからには、あと少し、私も人生を走り抜かなければとの思い新たの一冊。2025年11月刊A5判140頁 1600円(税別)



▼全史料協会報 118 号で終刊

全史料協では、解放・開始発行態勢を見直す。2025年度は会報、会誌を各1回ずつ刊行し、2026年度以降は会誌を年2回刊行、会報は刊行終了すると、同会報118号(2025.9)に藤吉圭二氏(広報公聴委員長)が発表した。従って、全史料協会報は118号が最終号となった。紙の時代の終焉か。

DJI 国際資料研究所の主な活動 2025年9月21日~2026年1月10日

<執筆>

DJI レポート No.142&143 20260115 A4 判 4p.PDF (本誌)

ナスの日通信 11月号 20251117 メルマガ配信

<見学>

9月13日 国立女性教育会館展示『赤松良子』+安岡正篤記念館、共に武蔵嵐山

11月3,5,6日 UNHCR 緒方貞子会議室、ジネーブ、スイス

<主催>

11月7日 海外アーカイブボランティア報告会 UNHCR Rm350

12月11日 海外アーカイブボランティア活動報告会、(株)カネカ本社、東京

12月15日 第1回ジニア福寿会、湘南川仏集会室、ジニア福寿会実行委員会主催、東海岸3丁目町内会後援

<参加>

9月12日 千種台39会幹事会、市ヶ谷、東京

9月15日 小川家1-90歳親戚10人渋谷集結午後茶会

9月21日 藤沢市明治地区センター防災講演会

9月26日 辻堂東海岸3丁目町内会懇親会 木曽路

9月27日, 11月22日 辻堂東海岸3丁目町内会役員会、東海岸市民の家、藤沢市辻堂東海岸

9月30日 藤沢 YMC ランチ

10月5日 洋子さんとランチ、K/M氏お茶、旭丘19期同期会、名古屋がーテンパルほか

10月18日 千種台39会東京総会、市ヶ谷、東京

11月3~7日 海外アーカイブボランティアの会の活動参加 UNHCR アーカイブ緒方貞子資料資料箱収納作業; 緒方貞子記念会議室見学, 6日今年度箱収納約230箱の成果報告会開催, 月水木金に懇親会、ジネーブ市公文書館長懇親会

11月12日 友人宛ジネーブでの写真約50点15通のメール添付送付、近隣友人宅へスィス土産届、しばし歓談

11月16~17日 福島バス旅行川内村長講演、桜井勝延元南相馬市長挨拶どちらも迫力。桜井氏「日本中の都市が脱原発宣言することを期待しております。」

11月18日 藤沢駅で人権擁護のスタンディングデモと発言。後でヨコさんとお茶。12月末メール着信、嬉。

11月25日 YC 藤沢ランチ

12月18日 愛美さんとルーマニアのクリスマスコンサート北沢タウンホール

1月7日 ジュニア福寿会開催打上 辻堂西海岸 Woot

<その他>

7月30日 カムチャツカ津波警報自宅待機大事なし

9月22,29日, 10月13,20,27日, 11月10,24日, 12月

1,8,21,28日 ラウラ先生ルーマニア語お稽古 on-line

9月24-25日 箱根対岳荘静養

10月1日 防音工事業者来宅

10月27日 pm Yoko 様来宅歓談

10月29日 杉江藤義博氏来宅歓談

10月30-31日 ジネーブ出発日, 3時間前羽田着もカウチーは出国外人で黒山の人だかり、イバウト恐るべし。31日未明 Helsinki 着乗換、寒い。6時頃ロニミ Rovaniemi 行に日本人団体20人程が出発、寿寿行8時発, 11時前ジ

1ネブ到着。こちらは暖かく安堵。夜ミコと近隣 Irish Bar でチーズフォンデュ堪能。

11月3-7日 UNHCR アーカイブ課でボランティア、ジュネーブ

11月6日 元ジュネーブ市公文書館長 Didier と夕方 ☺

11月8-9日 帰国日、0730taxi で出発 0750 頃着。もうカウンターは開いてたから荷物預けて中に入る。0830、0845 愛さんとカウンターで会う約束を思い出す ☹。急ぎにゲルの外に出た。愛さんとはすぐに会え、私は再度保安検査を経て愛さんと搭乗エリア。長旅開始。Helsinki 行機搭乗後ケタイが見つからず、CA に申し出た。ややあって、CA が私のケタイを持ってきてくれた。まあ、神様！

いえ、後の方が拾っていました。エッ、天使様！ありがたヤマ！命拾いだった。Helsinki-羽田約 14 時間。機内特別食を頼んだが非常に不味、失望。前回のドバイー羽田では美味だったが。羽田定刻帰着、税関までシア電気自動車で移動快適 ♥

12月27日 梅が丘緑寿司親族会食 13 名 (2-92 歳)

<健康管理>

9~12 月 医療受診実績 辻堂金沢内科クリニック 6 回、やの歯科 3 回、マリッ整形外科 9 月 21 日~1 月 10 日 17 回、辻堂南口耳鼻科 2 回、星野眼科 2 回、介護保険ヘルパ 1 週 1、ケア 1 回来宅、1 回電話

■ 巻末随想

● 今年もジュネーブ

10 月末から 11 月初めにかけて、11 日間出かけた。今回の旅はもっぱら失せ物探しに終始した。

思い返せば、去年一昨年と、パスポートを見失ない、同行の友達に心配かけて、叱られていたが、今回は一人旅。友達を煩わせる心配はなくなったものの、失せ物をやらすかと一人悩むことになる。その思いが募ったのか、荷造りにやたらと手間取りました。飛行機は羽田発着にした。何しろ、近くて便利だし。が、そうは問屋が卸さなかった。

1. チェックインは長蛇の列(°Д°)

出発は 10 月 30 日夜だったが。夕方明るいうちに家を出て、空港には 3 時間以上の余裕をもって到着した。でも、無人のカウンター前にはすでに長蛇の列！しかもガイジンばかりでした。インバウンド、すごい。

2. 薬袋を見失う ☹

漸く荷物を預けて、身軽になったところで洗面所で手荷物を確認しました。持ってきた ☹ 常備薬詰め合わせ袋、あったぞ！ダブルチェックして、リュックに放り込みました。

しかし、飛行機 ✈ が飛んで、しばらくしてその薬袋を探したら、見当たらない ありやうや。頭の中で、リュックに放り込んだシーンを思い出そうとしたけど、混乱。諦めて一眠り。乗換空港では未明 4 時前から 8 時迄待合せでした。乗継便は定刻通り、ジュネーブに am10 時 10 分到着、乗換地とは時差 1 時間。ともかく予約済みの宿舎に入り、荷解きしたら、あの ☹ 薬袋はひょっこり出てきた。なーんだ。拍子抜けでした。機内では「今週常備薬飲まずでいこう」などなど考えていた自分が、なんか可笑しく感じました。

3. 博物館訪問失敗 ☹

11 月 1 日土曜日、かねてから心に決めていたジュネーブ市の博物館を目指して出かけました。ところが、たどり着いた博物館は工事用フェンスで囲われ、改装の為閉館中の看板が出ていてがっかり。しかも、後から調べてみたら、なんと、閉館の看板出してたのは別の博物館だったらしい。もう後の祭。フランス語できない悲しさ。チッ！ ☹

4. UNHCR アーカイブ課での一週間 ☺

課長不在のアーカイブ課では例年通り歓迎の嵐。月午前珈琲茶会、火水は作業、木作業報告会、金打上 ☺, Patricia のデジ列講義もあり、大忙し超楽し!!

● 隣家の工事

我が隣家、建替えて 7 月初旬に取壊し工事があった。昭和初年からの大きな敷地と邸宅は気が付くと消え去り、わずかな庭の植栽が残された。予定通りの日程で取壊し工事は終了し、広々とした更地が出現した。その結果、敷地境界を接する我が家他 1 軒は、家の前の通りから建物や庭木がすべて見えるようになった。新しい世界の誕生、みたいな気分だ。新しい隣家が完成まで当分の間、道から我が家はよく見えている。…年末なり、隣家敷地は 3 分割され 1 軒が立ち上がった。残りは売地 2 区画、更地と緑地で越年。

● 立デモ参加 文書基本法案の発端を語る

最近藤沢市内に仏光寺院建設の動きがあり、これにヘイト運動の動きがあるというので、ヘイト運動への反ヘイト・反差別立ちデモに参加した。主催の Y 氏から 5 分ほど話をと請われ、1990 年頃の強制労働朝鮮人記録を巡る公文書館の粗雑対応に始まる怒りを投稿、そこが文書基本法案作成に結びつき、議員からの教示を得て公文書管理法の基盤となった文書基本法大綱を作成、さらに内閣府教示で法案の形に、これを叩き台となり、現行法が成立に結びついたことを語った。このデモのターゲット、仏光寺院建設反対運動が年末に辻堂駅頭にも出現をみた。唾棄すべき事態だ。辻堂の品位を汚された気分である。宗教の自由、表現の自由、品位を汚さぬ自制心など、世界人権宣言参照されたし。

● DJI ネコ科写真集 : DJI : No.142&143

● 筆者はネコ派です。=^_^=

● 本欄にはネコ科動物を取り上げます。=^_^=

釧路動物園のココアちゃん
(FB 動画から) (ち)

